

THE ROOF



佐藤潤四郎 《ブルー花器》
ガラス/宙吹 当館蔵

Contents

- 「自転車の世紀」展—自転車の過去から未来へ—
- 「ザ・ルーフ」第50号を迎えて
- 郡山市立美術館改修工事に伴う長期休館のお知らせ
- 寄稿 「春休み親子ワークショップ」をふりかえって
- Report
- Information

「自転車の世紀」展関連イベント



講演会 (各講演会とも定員150名、先着順)

「自転車の歴史と経済学から見える自転車の偉業」

8/6(日) 午後2時から
講師:マルコ・ファヴァロさん
チクリスタ・イン・ジャッポネ代表
サイクルウェア「カベルミュール」のモデルでおなじみ!
場所:多目的スタジオ (入場無料)



「自転車開発とレースに夢を描いた日本人」

8/27(日) 午後2時から
講師:谷田貝一男さん
自転車文化センター学芸員
場所:多目的スタジオ (入場無料)



「自分自身を高める乗り方、5つの提案」

9/16(土) 午後2時から
講師:竹谷賢二さん
(株)エンデュアライフ代表
アテネオリンピック代表選手(マウンテンバイク)
NHKBS放送「チャリダー★」に出演中!
場所:多目的スタジオ (入場無料)



美術講座

「自転車の歴史、ライフスタイルとアート」

7/30(日) 午後2時から 場所:講義室 講師:当館学芸員

「描かれた自転車」

8/26(土) 午後2時から 場所:講義室 講師:当館学芸員

ギャラリートーク

7/22(土)、9/10(日) 両日とも午後2時から

講師:当館学芸員(企画展観覧券が必要です)

映画会

7/23(日) 午後2時から(開場は30分前)
『茄子 アンダルシアの夏』(2004年、日本(アニメ))
『茄子 スーツケースの渡り鳥』(2008年、日本(アニメ))
場所:多目的スタジオ (入場無料)

9/9(土) 午後2時から(開場は30分前)
『自転車泥棒』1948年、イタリア映画
場所:多目的スタジオ (入場無料)

「いろんな自転車に乗ってみよう」
8/12(土)、8/13(日) 両日とも午前11時から12時

場所:多目的スタジオ(入場無料)
オーディナリー型自転車(複製)、ミニペロや幼児用二輪車などに試乗ができます。

自転車工房見学&トーク「あぶくま自転車工房」
9/3(日) 午前10時30分から11時30分 定員10名 (参加費無料)

福島県内で唯一のオーダーフレーム製作をしている自転車工房。
自転車製作の現場見学と、オーナー坂田智徳氏による解説。
場所:あぶくま自転車工房(福島県西白河郡矢吹町松倉688-12)
(現地集合・現地解散となります)

申込み:8/1(火) 10:00~
電話または美術館受付でお申し込みください。(先着順)

(予告)ミュージアムコンサート

9/23(土・祝) 午後6時開演
場所:階段ホール 定員180名
気鋭のジャズギタリスト・小沼ようすけ率いる
新ユニットの演奏会を開催します。

応募方法は、7月下旬から美術館ホームページ等で告知します。



参考図版
ドライス男爵とドライジーネ



②ルシアン・ベイラック
《中央自転車教習場》



③ベスピー 《LX1》



⑥千倉志野(バイシクル・トラベル)より
《2007年、オランダ・キルデンダイク》

自転車の始祖とされる乗り物を発明したのは、ドイツ人のカール・フォン・ドライス男爵(1785~1851)と言われています。森林管理官の仕事をしてきたドライスは、馬を使わないで人が移動できる乗り物が作れないだろうかと考えました。ドライスは、試行錯誤の末に木製のフレームの前後に車輪を並べ、その間に人がまたがり、足で地面を蹴って進む乗り物を開発しました。

ドライスは、この乗り物に《ドライジーネ》と名づけ、1817年に特許を申請します。このドライジーネは、ハンドルで前輪を動かしてバランスを取ることができたこと、ブレーキを装備していたことなど、自転車の基礎的な構造をすでに備えていました。その後、ヨーロッパ各国の人たちがこのドライジーネを真似した乗り物を作り、独自に改良を加えていきました。こうして生まれた自転車は、まだ実用的な乗り物ではなく、おもに貴族たちが趣味として楽しむ道具として使われていたのです。

自転車の歴史で最も重要な発明は、ペダルの登場です。1861年、フランス人のミシヨール親子が自転車の前輪にクランクとペダルを付けました。これで人間はやっと地面から足を離して自転車に乗ることができるようになったのです。ドライジーネの誕生から44年が過ぎていました。その後、スピードを出すために前輪が大きくなった《オーディナリー型自転車》が生まれ、その頃から自転車を使ったレースが開催されるようになります。オーディナリー型自転車は、転倒すると大ケガをする危険性があることから、前後の車輪の大きさを同じにして、チェーンを使って後輪を動かす《セーフティ・バイシクル(安全型自転車)》が開発され、現代の自転車の形ができてきました。

「自転車の世紀」展は、過去から現在までの自転車の歴史とその進化の過程を、約30台の自転車を通して見ることでできる貴重な展覧会です。

また、普段あまり目にする機会のない19世紀に作られた自転車のポスターや明治時代の錦絵などの美術作品、そして近年の自転車競技ブームを牽引しているマンガ『弱虫ペダル』の複製原画などもご紹介します。

自転車は環境にやさしい移動手段として、エコロジーの観点でも注目されていますが、本展でも、自転車用エアバッグや太陽光で発電するオランダの自転車専用道路など、自転車をとりまく最先端の技術なども紹介し、未来のモビリティの可能性を探ります。

(佐藤秀彦)



①《ミシヨール型自転車》



⑤自転車エアバッグ
《HOVDING2.0》



④『弱虫ペダル』複製原画

常設展示のご案内 当館の所蔵作品を、期間ごとにテーマ展示しています。

~2017.7/23(日)

- 1 イギリスの油彩画
- 2 近代洋画の少女像
- 3 イギリス、現代美術の魅力
- 4 イギリス版画の技法と表現/楽しい造形



① ウィリアム・ホガース(サミュエル・マーティンの肖像)
② 白瀬幾之助(編物をする少女)
③ サイ・エデュアルド・パオロツィ『零エネルギー実験電池』Vol. 1
④ 中川八郎(おぼろ月夜) ⑤ 川上澄生(新装の九段坂)
⑥ 佐藤潤四郎(オブジェ・羊車)

2017.7/26(水)~ 9.30(日)

- 1 イギリス人が見た明治の日本
- 2 描かれた日本の風景
- 3 郷土ゆかりの美術
- 4 版に描かれた「のりもの」/佐藤潤四郎 生誕110年

THE CENTURY OF BICYCLE

BICYCLE=LIFE+DESIGN+ECOLOGY

「自転車の世紀」

誕生から200年、新たな自転車の100年が始まる。

2017.7/22(土)→9/24(日)

開館時間:午前9時30分~午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日:毎週月曜日(9月18日(月・祝)は開館、翌日19日(火)は休館)
観覧料:一般1,000(800)円/高校・大学生500(400)円
()内は20名以上の団体料金 中学生以下、65歳以上の方、障がい者手帳をお持ちの方は無料

主催:郡山市立美術館
特別協力:(公財)シマノ・サイクル開発センター 自転車博物館サイクルセンター
(一財)日本自転車普及協会 自転車文化センター、NPO法人自転車活用研究会
企画協力:(株)プレントラスト

参考図版 ドライス男爵とドライジーネ 自転車博物館サイクルセンター(写真協力) ① 《ミシヨール型自転車》1870年 自転車博物館サイクルセンター所蔵
② ルシアン・ベイラック 《中央自転車教習場》1894年 京都工芸繊維大学美術工芸資料館所蔵(AN.3351) ③ ベスピー 《LX1》2017年 BESV JAPAN所蔵
④ 『弱虫ペダル』複製原画 ©渡辺航(週刊少年チャンピオン) ⑤ 自転車エアバッグ 《HOVDING2.0》2017年 ライトウェイプロダクツジャパン株式会社所蔵
⑥ 千倉志野 《バイシクル・トラベル》より 《2007年、オランダ・キルデンダイク》作家蔵

「ザ・ルーフ」は

第50号を迎えました

郡山市立美術館、これまでの25年間をふりかえります

郡山市立美術館は、2017年11月21日に、開館から25年となります。

これまで開催された企画展は150本を超え、企画展関連イベントやワークショップ、ミュージアム・コンサートなども多岐にわたり数多く開催してきました。ご来館くださった皆様、いつも応援、協力してくださる皆様に心より感謝いたします。

年に2号ずつ発行される「郡山市立美術館ニュース ザ・ルーフ」も、多くの方々に支えられ、今回で第50号となりました。これからも皆様に美術館に親しんでいただくよう、情報を発信してまいります。

「郡山市立美術館ニュース ザ・ルーフ」は、1992年11月に第1号が発行されました。開館前には、「郡山市立美術館(仮称)建設準備ニュース」として3号発行されました。



「郡山市立美術館ニュース ザ・ルーフ Vol.1」
1992年11月21日発行



「郡山市立美術館建設準備ニュース 3」
1992年7月1日発行



「郡山市立美術館(仮称)建設準備ニュース 1」
1991年6月29日発行

郡山市立美術館
1992年11月21日
開館!

1992年7月1日、現在地に美術館が竣工、市役所の中にあった建設準備室が、「美術館」と名を変えて移転しました。

郡山市立美術館の後ろにはまだ「仮称」の文字が!



「郡山市立美術館ニュース ザ・ルーフ Vol.41 開館20周年記念号」
2012年10月23日発行



「郡山市立美術館ニュース ザ・ルーフ Vol.30 開館15周年記念号」
2007年7月1日発行



「郡山市立美術館ニュース ザ・ルーフ Vol.20 開館10周年記念 特別付録」
2002年11月22日発行



「郡山市立美術館ニュース ザ・ルーフ Vol.10 開館5周年記念号」
1997年10月1日発行

2012年には、開館20周年を記念し、「バーン＝ジョーンズ展」、「ベスト・セレクション 所蔵作品日英近代美術名品選」を開催しました。

「ザ・ルーフ」の大きさが現在のA4サイズになりました

建築家の柳澤孝彦氏によって設計された当館は、1998年、「公共建築100選」のひとつに選ばれました。「建物と自然が一体となっている、環境としての美術館の創造に成功した」と評価されました。また、柳澤氏は当館の設計により、日本芸術院賞を受賞しています。

来年夏、郡山市立美術館は リニューアルオープンします

郡山市立美術館は、開館から25年が経過し、施設機器等の老朽化が進んでいる状況で、設備に様々な問題を抱えています。そこで、開館以来初めて長期休館し、今後の展覧会をはじめとする美術館事業を安心して実施できるように、館内設備

の改修工事を行います。改修工事に伴う長期休館中は、ご利用の皆様には大変ご不便をおかけすることになりますが、当館では2018年7月のリニューアルオープンに向けて準備をしていきます。今後の事業をどうぞお楽しみに!

空調設備・監視システム

美術館では、空調設備を24時間稼働させ、作品保護のために、展示室・収蔵庫の気温・湿度を一定に保っています。25年間毎日働き続けている空調設備は、経年劣化が進み、安定した運転がいつまでできるのか心配な状況になっているのです。また、休館中には館内の監視システムの更新も行います。

美術館では、展覧会を開催するために、国内外から作品をお借りしますが、その条件はとて厳しいものです。



空冷機(現在)



空調機(現在)

作品保護のために適切な設備が整っているかどうかは、美術館が安定して事業を行う上でとても重要な条件です。

照明設備

美術館にとって展示室の照明は、皆様に作品をご覧いただく上で、もっとも重要な要素のひとつです。これまでの展示照明はUVカットの特殊な蛍光灯とハロゲンランプを併せて、LEDに切り替えます。LED照明はもともU・Vカットであり、長寿命で消費電力が少なく、美術館の展示に良い変化をもたらします。

まず第一は、明るさが増すという

ことです。美術作品、特に紙や布の作品は、ハロゲンランプ照明を当て続けることで影響を受けやすく、最小限にとどめなければなりません。美術館では、そうした作品を展示する際にはできるだけ照度を抑えているため、少し暗く見えにくい印象があるかもしれません。ハロゲンランプは照度を落として

いくと、光の色が赤くなってしまい、作品本来の色が識別しにくいという難点もあります。その点、美術館で使用されるLED照明は、対象の色再現性に優れ、本来の色がよく見えるため、同じ照度でもより鮮明に感じられるようになっています。展示室内の照明がリニューアルされることで、鑑賞空間の質の向上につながります。



企画展示室照明(現在)



常設展示室照明(現在)

施設の改修工事に伴う長期休館のお知らせ

郡山市立美術館は、施設の改修工事のため、下記の期間を全館休館いたします。

【休館期間】
2017年10月1日(日)～2018年7月6日(金)

ご利用の皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

※休館中のカフェの営業につきましては、8ページ「TOPICS」をご覧ください。



Report

第9回 風土記の空 ～郡山市内の中学校美術部による作品展～

2016年11月12日(土)～12月11日(日)
場所:美術館ロビー

郡山市内の中学校の美術部での活動や選択美術の授業で制作された作品を紹介するものです。中学生が自分自身で額装し、展示も自分たちで行う展示体験も実施しました。
参加校: 日和田中学校、守山中学校、郡山第二中学校、郡山第三中学校、郡山第四中学校、緑ヶ丘中学校、小原田中学校、西田中学校



中学生による展示作業の様子



アート・テーク (報告)

平成28年度 第4回 「見えないものを見る力」



2016年11月26日(土)
特別講師: 河瀬直美さん(映画監督)
場所: 多目的スタジオ

第一部では河瀬さんのドキュメンタリー映画を上映、第二部では河瀬さんのこれまでの映画監督人生について、ご自身の作品などを振り返りながらお話しいただきました。

平成28年度 第6回 「レコードと暮らし」

2017年3月18日(土)
特別講師: 田口史人さん
(レコード店「円盤」店主)
場所: 多目的スタジオ

多彩なレコードを聞き続けてきた田口さんの膨大なコレクションの中から、当館ならではのテーマとレコードをセレクトし、解説していただきました。耳を傾けていると、当時の暮らしや人々の気持ちが見えてくるようでした。

ワークショップ (報告)

「初心者のための油彩画」(連続講座)

2016年10月8日(土)、9日(日)、22日(土)、23日(日)
講師: 青山ひろゆきさん(画家、東北芸術工科大学准教授)
場所: 多目的スタジオ

初心者を対象に、油彩画を基礎から教えていただきました。野菜や果物、瓶や牛骨などのモチーフを囲み、12号のキャンパスに静物画を描きました。

「銅版画講座」(連続講座)

2017年3月4日(土)、5日(日)、12日(日)
講師: 安藤真司さん(版画家)
場所: 創作スタジオ

初心者の方を対象とした銅版画の技法講座。繊細な線が表現できるエッチング技法とハーフトーンの色面が表現できるアクアチント技法を併用し、作品を制作しました。

「村治佳織 ギター・コンサート～静かな始まり～」

2017年3月11日(土)
出演: 村治佳織さん(ギタリスト)
場所: 階段ホール



国内外で活躍するギタリスト、村治佳織さんをお招きし、名曲の数々を演奏していただきました。観客の皆さんは、ギターの繊細な音の響き、迫力のあるリズムに聞き入っていました。

講演会「MOA美術館の名品ー岩佐又兵衛を中心に」

2016年11月23日(土)
講師: 矢代勝也さん(MOA美術館学芸部次長)
場所: 多目的スタジオ

「MOA美術館名品展」にあわせて開催されました。岩佐又兵衛の生涯と画業、MOA美術館所蔵作品を中心とした代表作の紹介していただきました。

平成28年度 第5回 「動物ものまねー声の形象」



2017年1月28日(土)
特別講師: 江戸家小猫さん(演芸家)
場所: 多目的スタジオ

明治から続く動物ものまね、江戸家の芸を受け継ぐ二代目江戸家小猫さんに、ご講演いただきました。うぐいす、蛙、秋の虫など伝統の芸はもろろんのこと、鳴き声あまり知られていない動物たちの声も披露していただきました。

平成29年度 第1回 「美術館のアイデンティティー」

2017年5月27日(土)
特別講師: 佐藤道信さん
(東京藝術大学教授)
場所: 多目的スタジオ

現在何気なく使われる「美術」、「美術館」という言葉は、明治時代にできた概念用語で、日本の近代政策と密接な関係にあります。その時代ごとに「美術」、「美術館」が担っていたものについて考察する意義深い講座となりました。

「季節を染める一栞ー」 「季節を染めるータンポポー」

2016年12月18日(日) 2017年4月30日(日)
講師: 佐治ゆかり(当館館長) 講師: 佐治ゆかり(当館館長)
場所: 創作スタジオ 場所: 創作スタジオ

レクチャーを交えながら、季節を代表する植物を材料に、パシュミナやシルク素材のストールを染めました。

「コラーージュでつくるドール服のフレーム画」 2017年5月21日(日)、6月18日(日)
「コラーージュでつくるドール服のマイバッグ」 2017年5月21日(日)
「人形の手作りドレスをつくろう」 2017年6月18日(日)

講師: 渡部セツ子さん、渡辺仁子さん、佐藤亜有さん(今泉女子専門学校)
場所: 創作スタジオ

思い思いにレースや布を組み合わせ、人形のドレスをイメージしたフレーム画やマイバッグ、また自分の人形に着せるドレスを作りました。

「春休み親子ワークショップ」は、美術館に展示されている作品を楽しむ、観賞と創作をセットにしたプログラムです。参加者が美術館に親しみ、作品に興味をもつきっかけとなることを目的としています。内容は毎年異なりますが、開催中の展覧会と連動させています。また、美術館で実施するワークショップであることを意識し、展示作品を観賞することが創作に繋がるように、あるいは創作が展示作品への理解につながるよう組み立てています。

対象は親子(子どもと同伴の大人)であることから、親は子どもの活動を見守るのではなく、参加者の一人となります。作品を通して、家族が互いに学び合うことに重きを置いています。ワークショップでは、家族だけで取り組む時間を作っています。たとえば、展示室ではワークシートをもとに家族ごとに作品を見てもいいです。シートの内容は、大人の助けを借りるものや、親子の共同作業を促すものがあります。また、日常生活では親

が子へ教えるという場面が多いと思いますが、ここでは親が子に教わるという、いつもと逆転した関わり方も、さりげなく取り入れるようにしています。そうすることにより、家族の意外な一面を知ることになり、親子の意図は見えなくても、親子の姿を目にする機会になります。親子が共通の体験をしながら、そして参加者全員との交流を通して、作品との関わりを深めていきます。同じ作品を見ていても、家族でさえ一人ひとり感じ方が異なります。その自分との違いも楽しんでもらえると嬉しいです。また、ワークショップでの体験がその場だけのものとして終わるのではなく、その体験を家庭に持ち帰り、家族間で共有してほしいです。だからこそ美術館の体験が記憶に残るものになるよう、心がけていきたいです。



り豊かなものになります。おりにふれてさまざまな助言をいただき、感謝していただきます。私が「春休み親子ワークショップ」を担当させていただいてから、4度目となります。今後も観賞と創作のワークショップを通して、美術館と親子、そして作品と親子、さらには家族間や参加者同士をつなぐ「つながり手」でありたいと思います。

毎年春休み期間に開催している「春休み親子ワークショップ」。講師の藤田百合さんにこれまでのワークショップをふりかえっていただきました。

藤田 百合
(女子美術大学講師、エドゥケーター)



春休み親子ワークショップ 「めぐる・みつける・イギリスの旅！」

2017年3月19日(日)、20日(月・祝)
講師: 藤田百合さん
(女子美術大学講師、エドゥケーター)
場所: 多目的スタジオ

誕生50周年記念 リカちゃん展 (報告) 会期: 2017年4月22日(土)～7月9日(日)

開発当時から現代にいたるまで、当時の様々なファッションとともにリカちゃん人形の歩みとその魅力を紹介しました。リカちゃんキャスルコーナーや県内の制服シリーズ、牧美也子原画作品など当館ならではの展示部分や、写真やデザイン画の募集などの関連事業の応募作品展示など、会期後半は館内がさらににぎやかになりました。



第16回 風土記の丘の美術展

—郡山市内の小学生による作品展—

会期:7月17日(月・祝)～8月20日(日)
主催:郡山市立美術館・郡山市小学校造形教育研究会
場所:美術館ロビー

市内を5つの地域に分けて、週替わりで展示します。
展覧会とあわせてお楽しみください。

第1期 7月17日(月・祝)～23日(日)
金透、芳山、芳賀、桃見台、赤木、白岩、東芳、大島、
緑ヶ丘第一、宮城、海老根、御館

第2期 7月25日(火)～30日(日)
片平、喜久田、熱海、熱海石筵分校、安子島、湖南、富田西、
桑野、小山田

第3期 8月1日(火)～6日(日)
安積第一、安積第二、安積第三、永盛、守山、御代田、高瀬、
谷田川、田母神、栃山神、橘、小原田、桜

第4期 8月8日(火)～13日(日)
日和田、高倉、行健、行健第二、明健、小泉、行徳、富田、
富田東、高野、鬼生田、三町目、大田、根木屋

第5期 8月15日(火)～20日(日)
柴宮、穂積、三和、多田野、多田野堀口分校、河内、開成、
薫、大槻、大成、朝日が丘、ザベリオ学園



【夏休み公開ワークショップ】

第12回 風土記の丘発 図工&美術の時間へようこそ！

小中学校の先生と一緒に、図工と美術の授業を体験。
いろいろなテーマのコーナーでお待ちしています。

日時:8月5日(土) 午前の部 11:00～12:00
午後の部 14:00～15:00

講師:小中学校の先生
場所:多目的スタジオ
定員:各コーナーとも先着15名程度。
※申込不要です。



郡山市立美術館
文化講座

アート・テーク

平成29年度 第2回 「美術館の未来」

日時:7月29日(土)午後2時から
特別講師:木下直之さん
(東京大学教授/静岡県立美術館館長)
場所:多目的スタジオ(入場無料) **申込不要**



平成29年度 第3回 「美は見つけた人のもの」(仮題)

日時:9月17日(日)午後2時から **申込必要**
特別講師:佐野史郎さん(俳優) **【受付期間】**
場所:多目的スタジオ(入場無料) 8月1日(火)～8月27日(日)必着
(申込方法は館内ちらし、ホームページ等をご覧ください。)



企画展関連イベント 「自転車の世紀」展関連の講演会、美術講座、ギャラリートーク、映画会等の情報につきましては、3ページをご覧ください。

TOPICS



営業時間 / 11:00-17:00
電話 / 024-942-2250

【季節限定パスタ】 あさりとズッキーニのボンゴレ・ロツソ (サラダ・ドリンク付 1,100円)

ランチタイムにおすすめの季節限定パスタ。
今夏はあさをたっぷり使用したトマトソースパスタに
旬の野菜ズッキーニを加えたシェフおすすめのボンゴレ・
ロツソです。
(季節限定パスタメニューは日によりメニュー内容が替わります)



12月中旬まで営業予定

美術館長期休館中、juju130CAFEは12月中旬まで営業予定ですので、来店される方に限り駐車場の
ご利用ができます。なお、営業時間などの詳細は美術館HP内のjuju130CAFEのページをご覧ください。
※美術館長期休館につきましては、5ページをご覧ください。

juju130CAFE [検索](#)